

# 公共施設マネジメントに関する市民アンケート(WEB)の調査結果について (令和4年3月実施)

## 1 市民アンケートの概要について

尼崎市では、建築後 30 年以上経過した公共施設が約6割を占めており、老朽化対策や耐震性の確保などの課題を抱えています。

一方で、人口減少や少子高齢化の進展により、財政的な負担からみて今ある全ての公共施設を建て替えて維持・管理していくことは事実上不可能であり、公共施設マネジメントの取組として、中長期的な視点で身の丈にあった施設規模にしていく必要があります。

こうした課題の解決に向け、本市では将来を見据え、次世代に大きな負担を残さないために、公共施設を計画的に維持・管理・更新を図る「公共施設マネジメント」の取組を進めています。

本アンケートは、「公共施設マネジメント」の認知度のほか、公共施設の再編等について、市民の皆さまがどのように考えているか意識・意見等を調査し、今後の周知方法や施設の見直し手法の検討をするため、実施したものです(前回調査は平成 31 年 3 月に実施)。

## 2 実施期間

令和 4 年 3 月 18 日(金)～3 月 28 日(月)

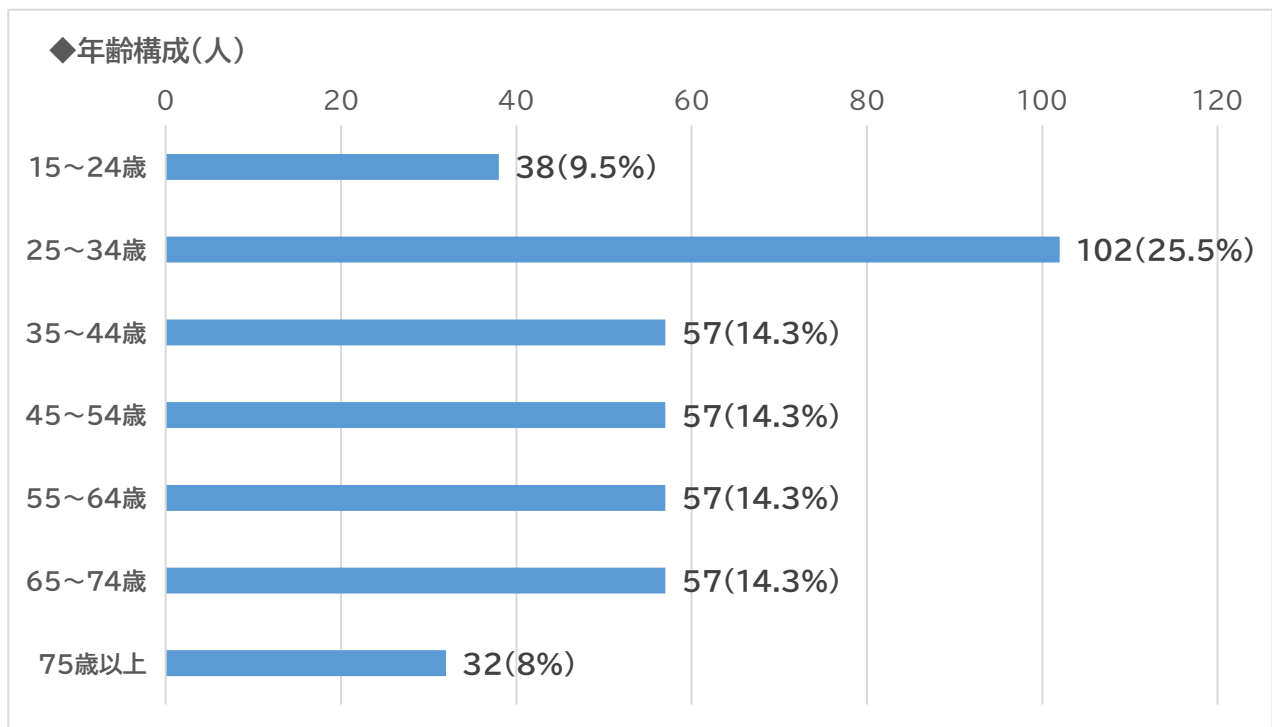
## 3 アンケート対象者数

調査会社のネットモニターから、抽出された15歳以上の尼崎市民 400 人。

## 4 アンケート実施方法

WEB方式により実施

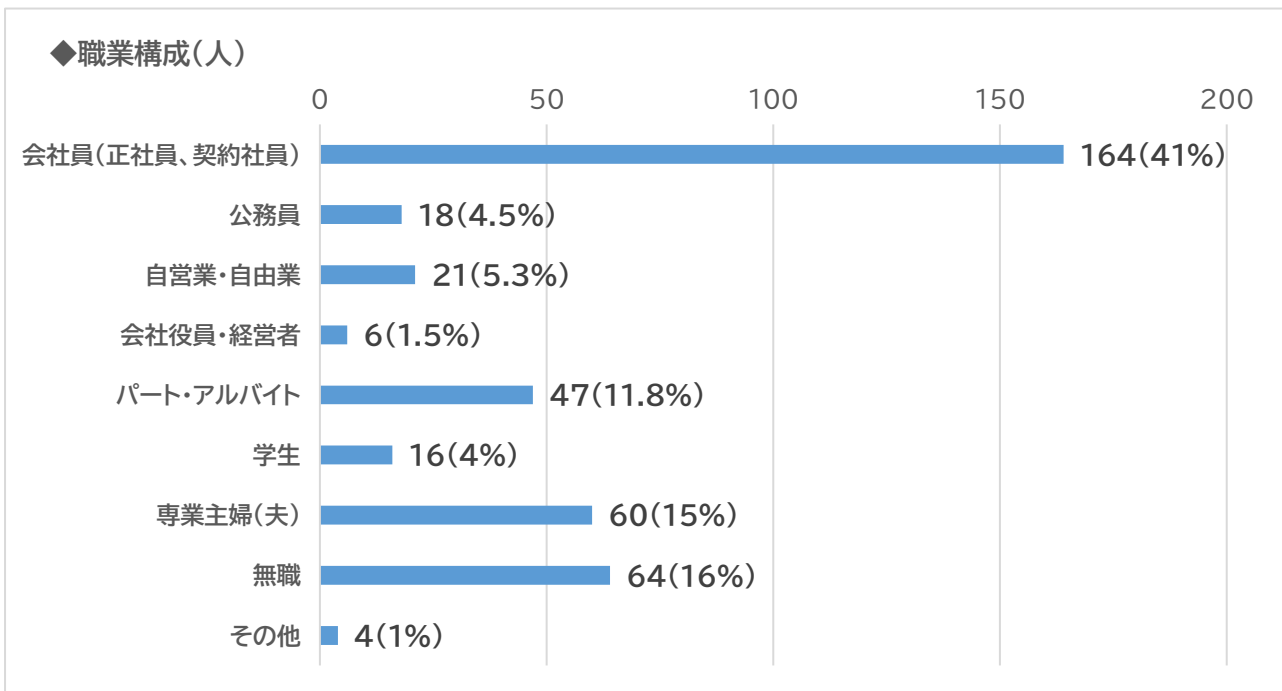
## 5 年齢構成別回答者人数



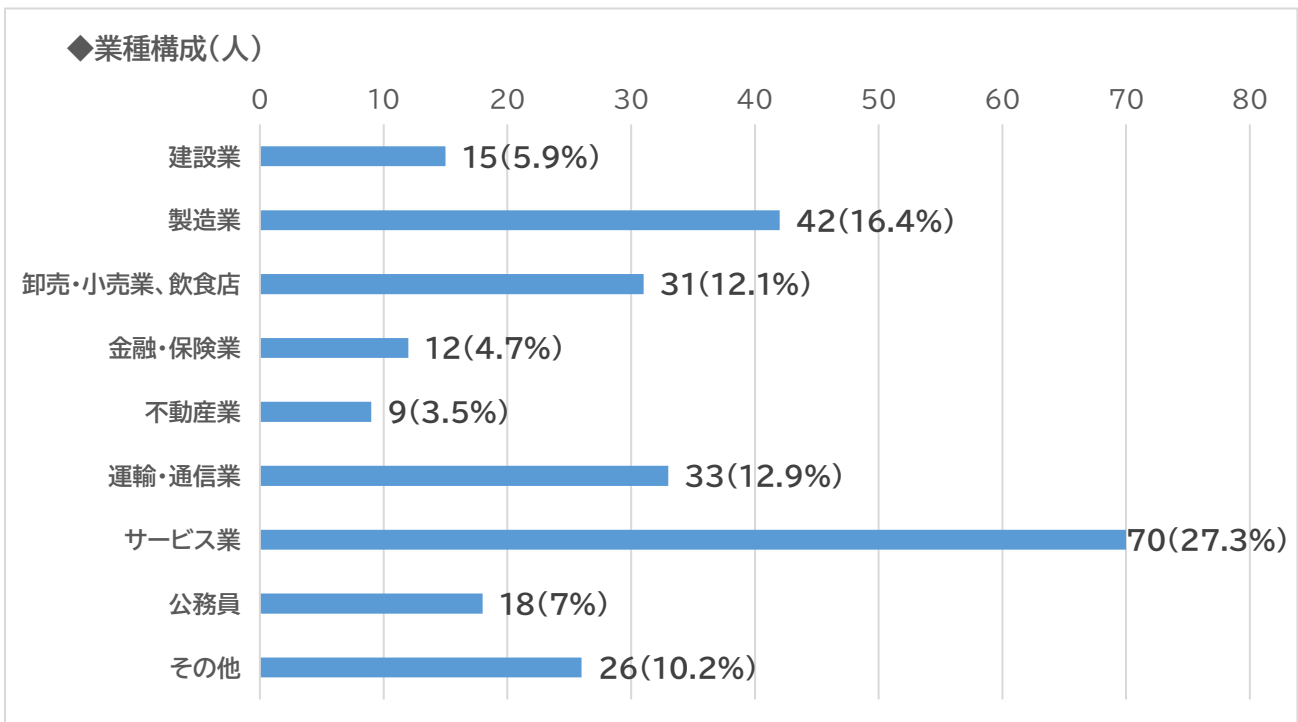
## 6 調査結果について

### (1) 属性質問

#### ア 職業を教えてください。(回答数:400)



#### イ あなたの勤務先企業の業種(主な事業内容)として、以下のうち、もっとも近いものを1つ選んでください。(回答数:256)

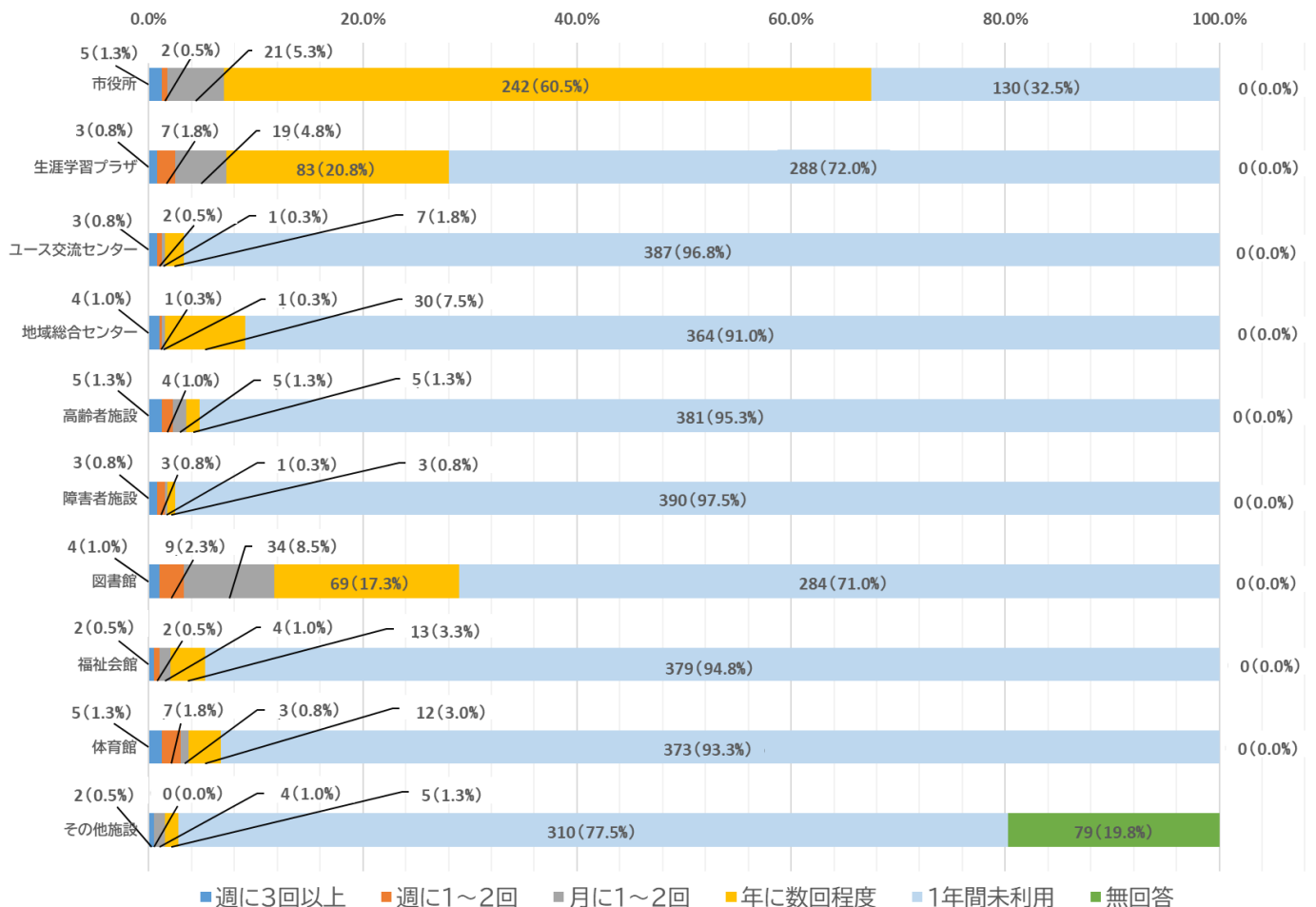


※会社員、公務員、自営業・自由業、会社役員・経営者、パート・アルバイトと回答した人のみ。

## (2) 質問

問1 あなたは、過去1年間で尼崎市の公共施設をそれぞれ、どのくらいの頻度で利用していますか。次の中からすべて選んでください。(回答数:4,000)

◆公共施設の利用頻度(人)



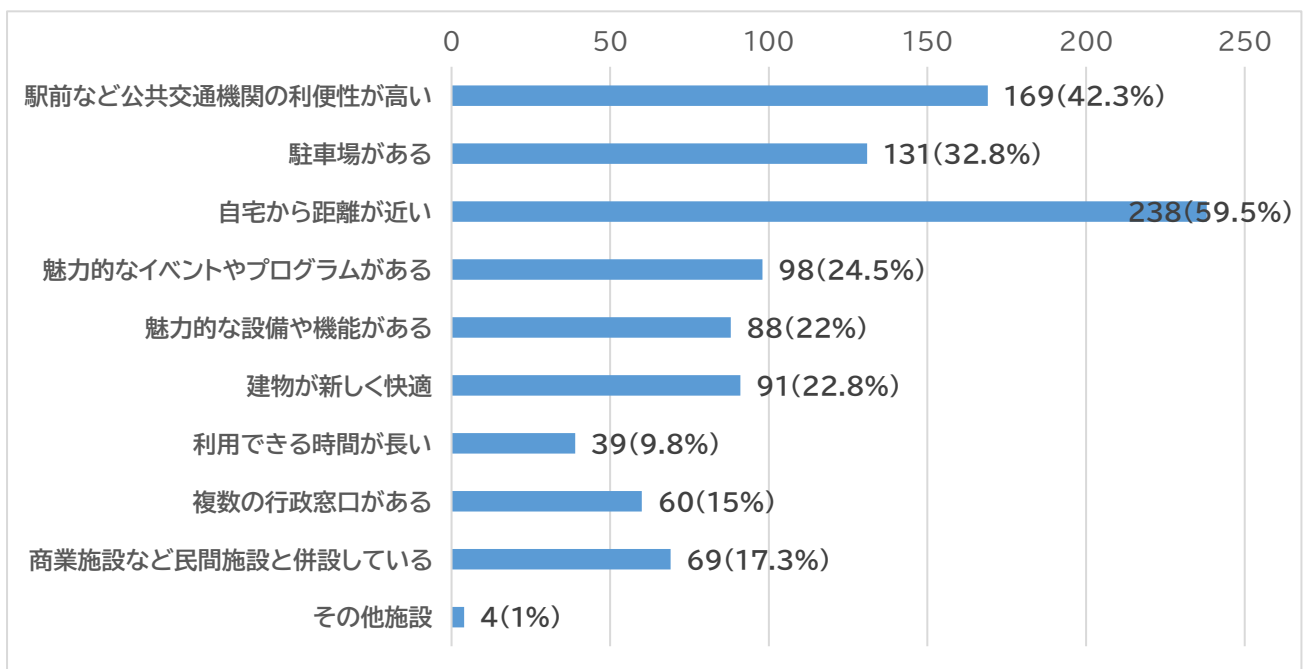
※市役所は「本庁舎・サービスセンター・南北保健福祉センター」、生涯学習プラザは「支所・地区会館・公民館」として集計しています。

### 【その他施設の主なもの】

サンシビック尼崎、歴史博物館、観光案内所、いくしあ(子どもの育ち支援センター)、小学校体育館等

過去1年間の公共施設の利用について、「市役所」が最も利用頻度が高く、68%(前回調査:60%)の人が1年以内に利用しており、次に「図書館」が29%(前回調査:5%)、「生涯学習プラザ」が28%(前回調査:31%)となっている。なお、施設の目的上、利用者が限定的となる「障害者施設」、「福祉会館」、「体育館」及び「高齢者施設」等は前回調査時とほぼ同様に90%以上の人が過去1年間利用していない状況となっている。

問2 あなたは、どのような公共施設を利用したいですか。次の中から 3 つ以内で選んでください。(回答数:987)



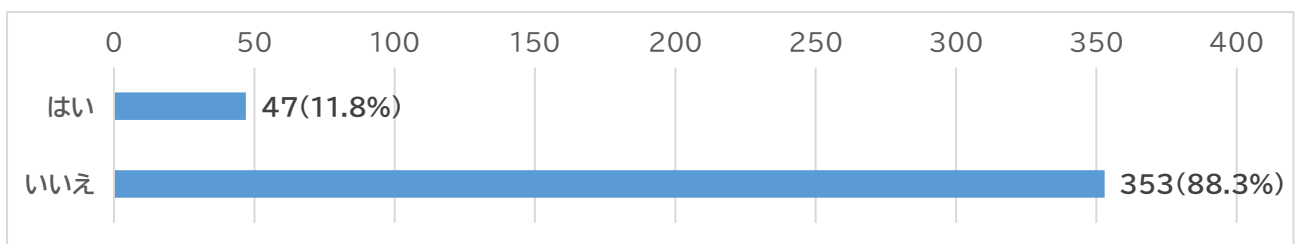
【その他施設の主なもの】

わかりやすい場所にある施設、趣味を楽しめる施設等

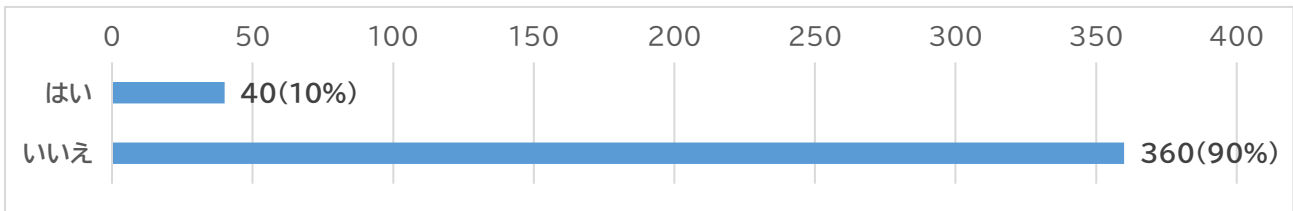
利用したい公共施設については、「自宅から近い」と回答する人が60%(前回調査:64%)で最も多く、次いで「駅前等の利便性が高い」と回答する人が42%(前回調査:49%)となっている。

また、「魅力的なイベント等がある」、「建物が新しく快適」、「魅力的な設備・機能がある」と回答する人が前回調査時と同様にそれぞれ20%以上となっており、アクセスのしやすさや魅力的なハード及びソフトが備わっているかが、ポイントとなっている。

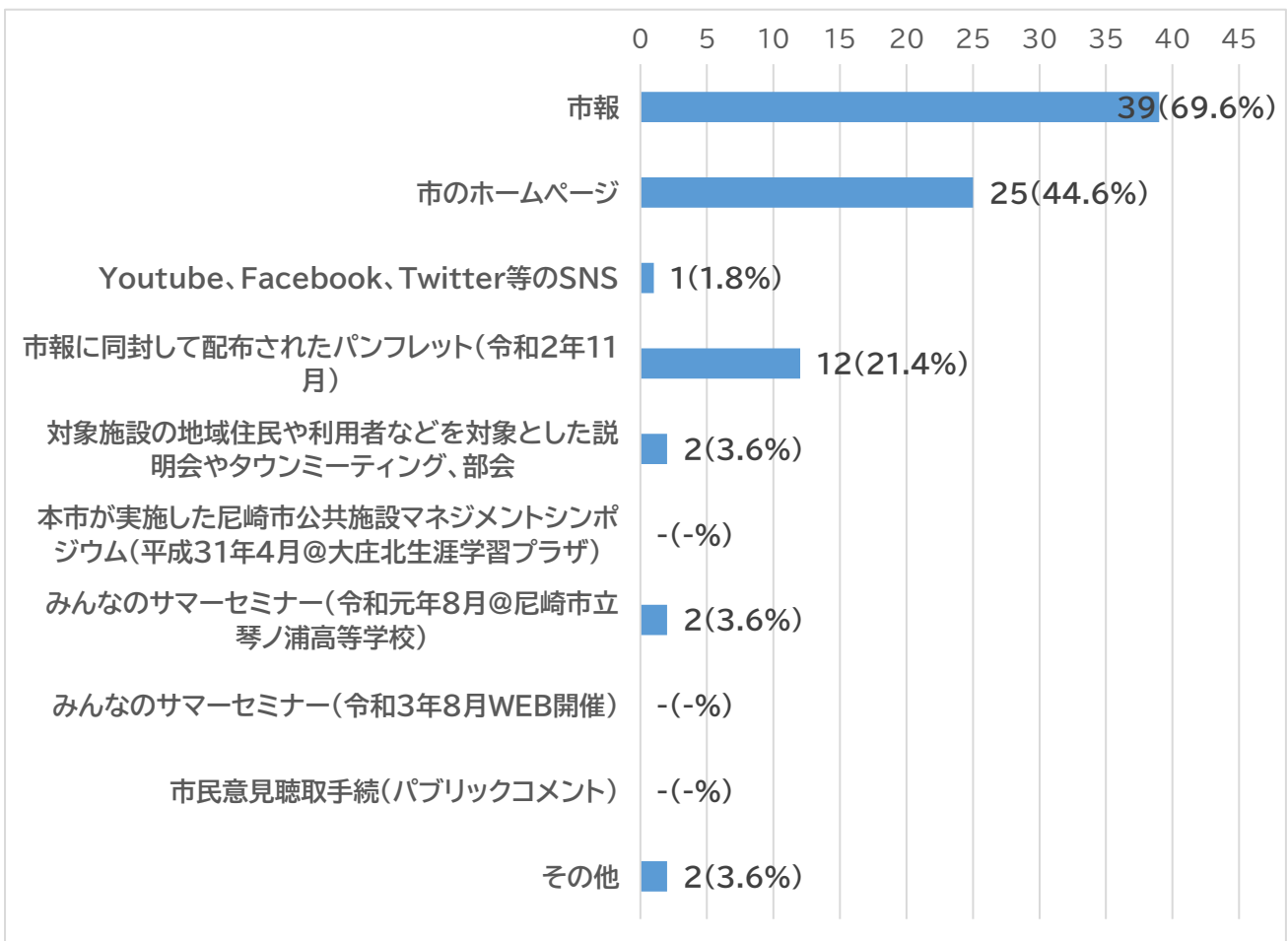
問3 あなたは、本市が「再編」、「予防保全」、「効率的・効果的な運営」の3つの方針を定めた「尼崎市公共施設マネジメント基本方針」に基づき取組を進めていることを知っていますか。(回答数:400)



問4 あなたは、本市が廃止・集約・複合化による再編の取組などにより、施設保有量の抑制を図る取組を進めていることを知っていますか。(回答数:400)



問5 問3及び問4で「はい」と答えられた方にお聞きします。公共施設マネジメントの取組をどのような機会で見ましたか。次の中から3つ以内で選んでください。(回答数:83)



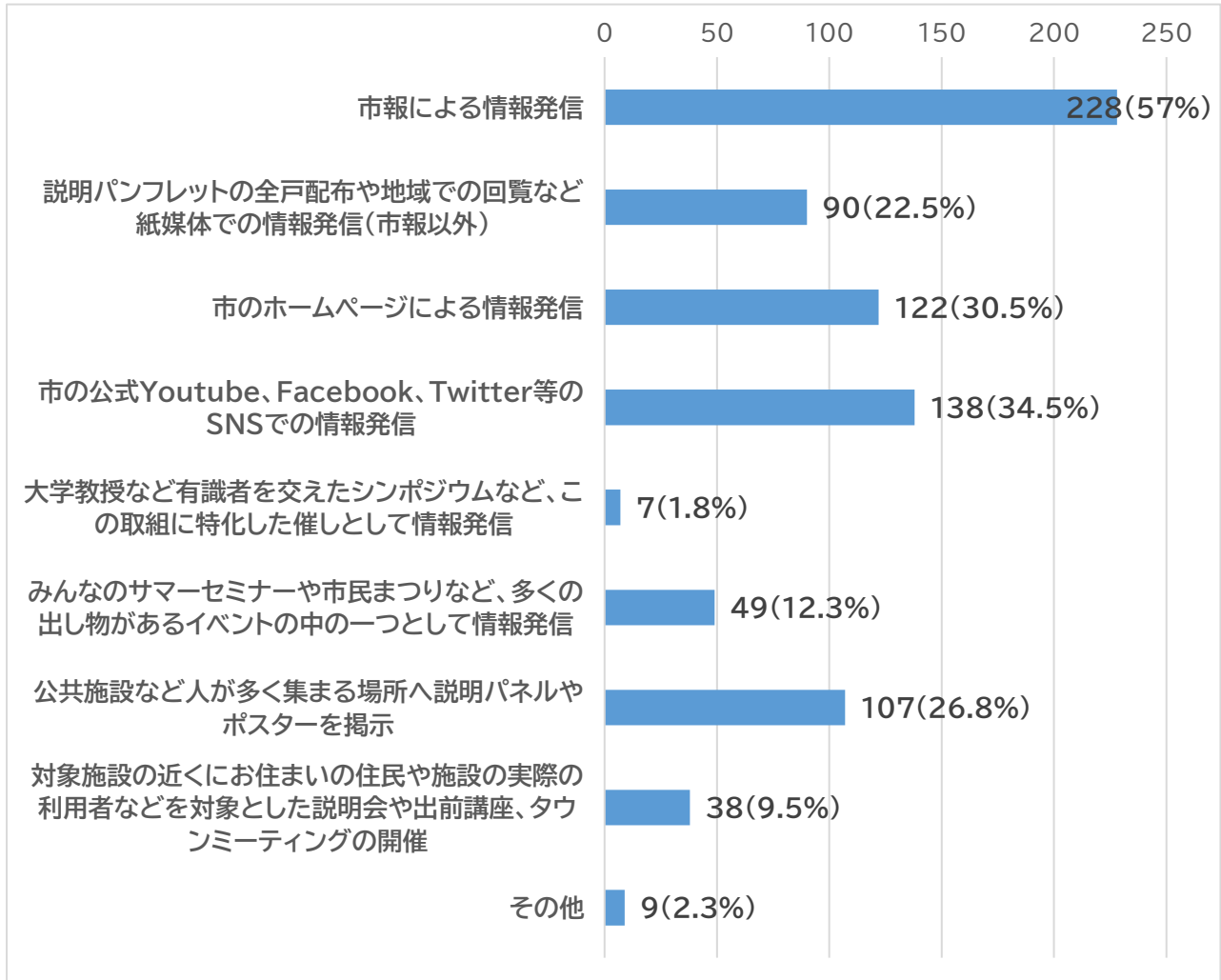
※問3及び問4で「はい」と回答した人のみ。

【その他の主なもの】

LINE、知人から聞いた

施設保有量の抑制等を図る尼崎市の公共施設マネジメントの取組について、「知っている」と回答した人は前回調査時と同様の12%に留まっている。なお、「知っている」と回答した人のうち、市報により知ったと回答した人が70%(前回調査:63%)で最も多く、次いで市ホームページにより知ったと回答した人は45%(前回調査:43%)であった。

問6 あなたは、本市が公共施設マネジメントの取組を検討する際に、どのような手法をとれば市民の方々と情報共有できると思いますか。次の中から 3 つ以内で選んでください。(回答数：788)

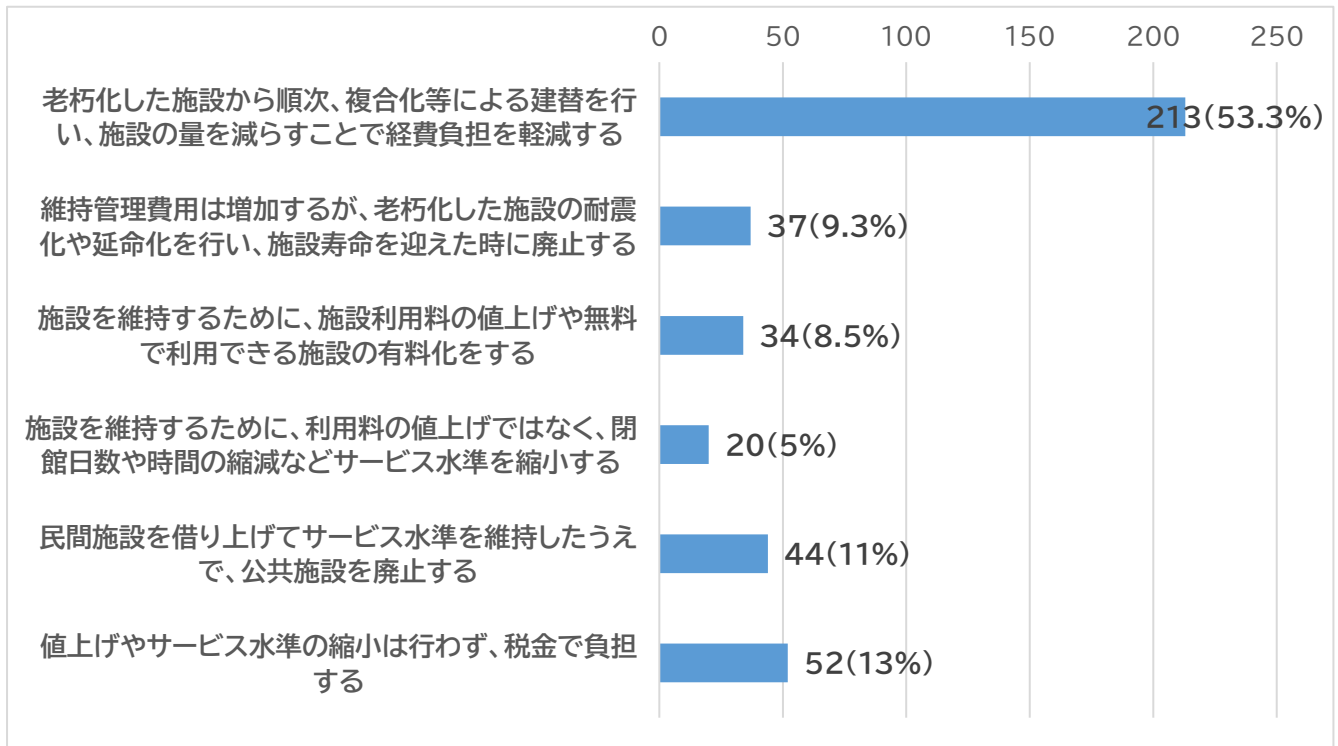


【その他の主なもの】

テレビ(ケーブルテレビ等)、保育所でのチラシ配布等

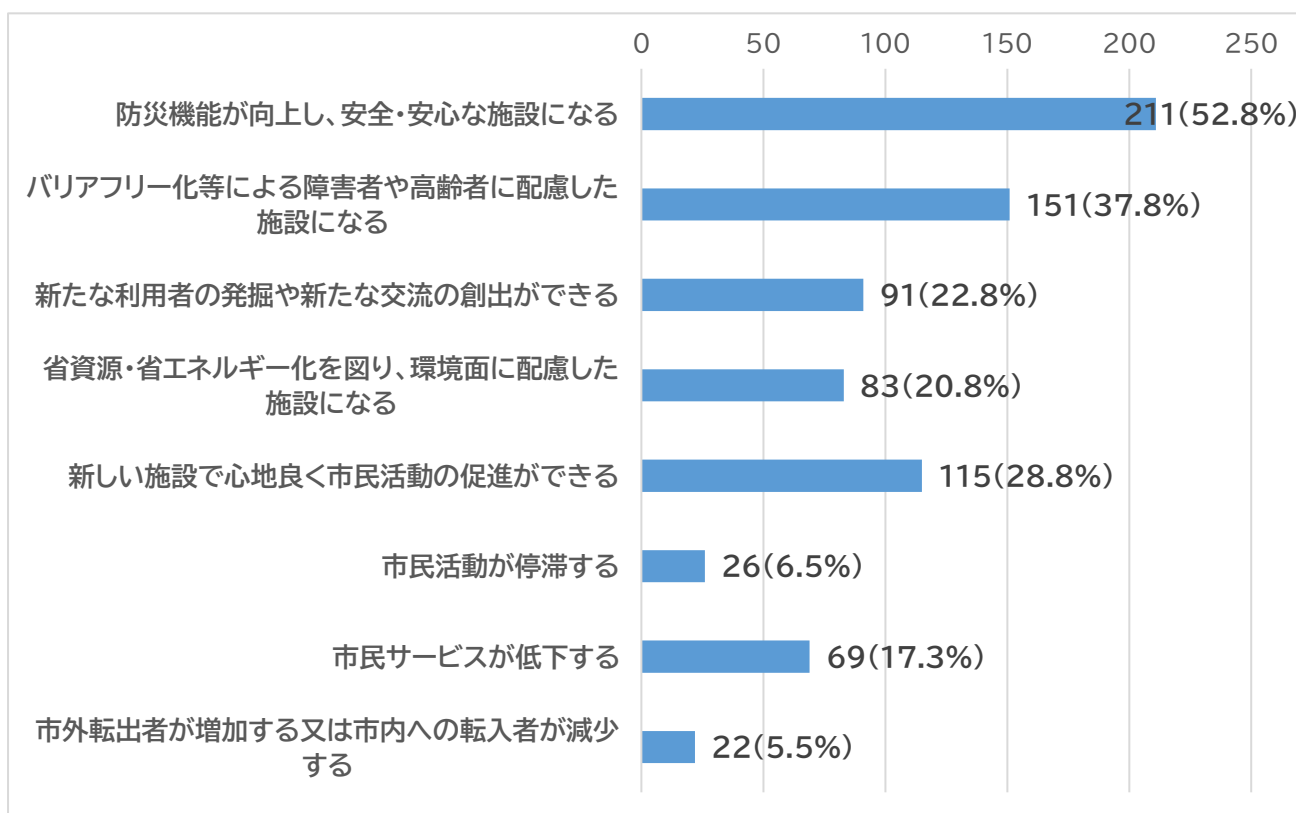
公共施設マネジメントの情報提供の方法として、望まれているのは、「市報」と回答する人が57% (前回調査:70%)で最も多く、次いで「SNS」が35%(前回調査:2%)、「市ホームページ」が31% (前回調査:46%)となっている。

問7 あなたは、この公共施設マネジメントの取組を進めていくうえでどのような方法が適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを、次の中から1つ選んでください。(回答数：400)



公共施設マネジメントの取組を進める手法として、「老朽化している公共施設から順次、複合化等」に取組むことが適切である」と考えている人が53%(前回調査:58%)で最も多く、「値上げ等を行わず税金で負担する対応が適切」とする人が13%(前回調査:7%)、「維持管理費用が増加しても延命化等を行い施設を維持する対応が適切」と回答する人が9%(前回調査:7%)となっている。

問8 あなたは、施設の量を削減する場合に、どのような効果を期待しますか。又は、どのようなことを懸念しますか。次の中から3つ以内で選んでください。(回答数:768)

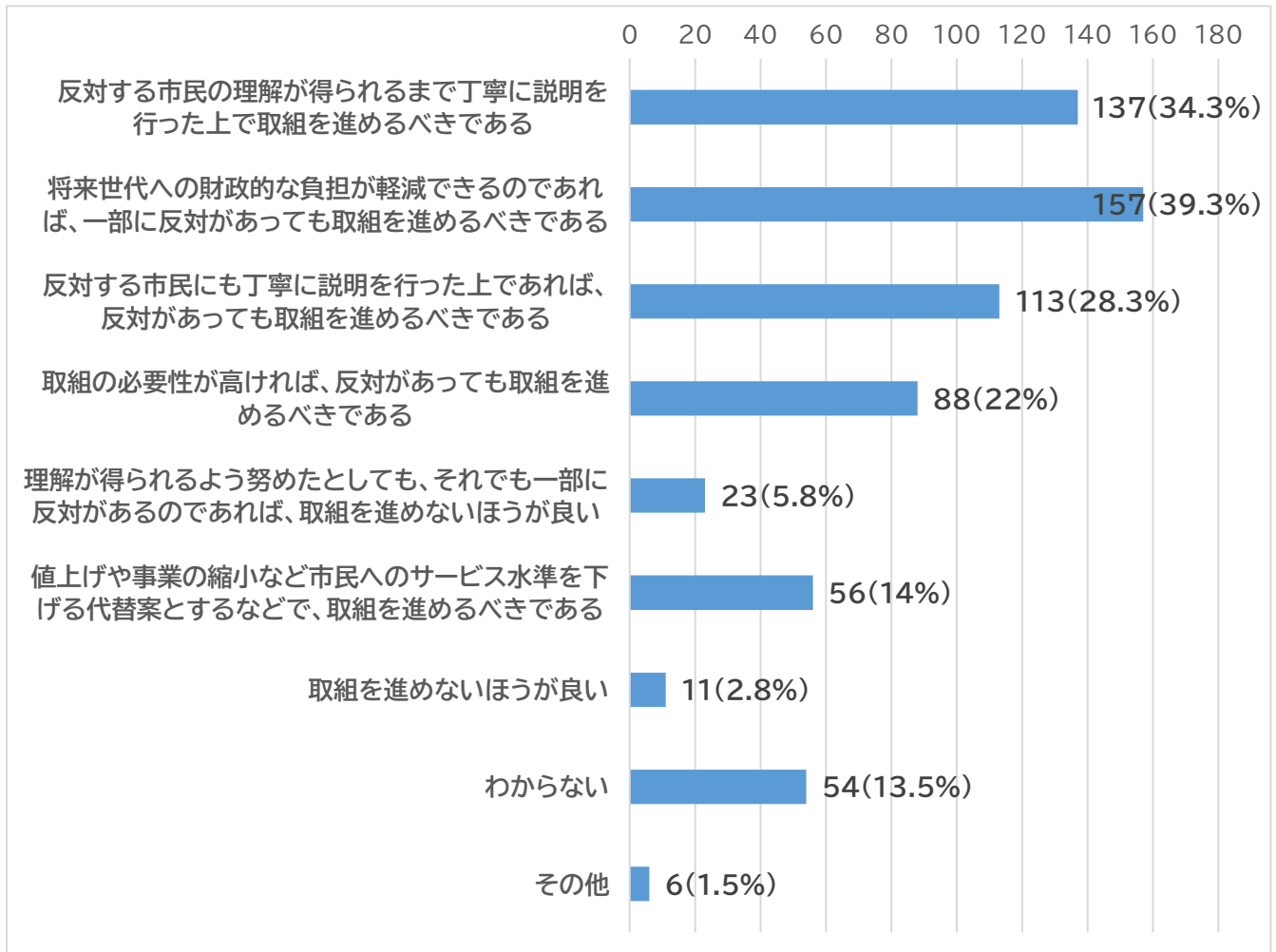


公共施設を削減する場合の効果として、「防災機能の向上による安全性の確保」を期待する人が前回調査時と同様の53%で最も多く、次いで「バリアフリー化等による利便性の向上」を期待する人が38%(前回調査:41%)とハード面における機能の向上が期待されている。

一方、「施設を削減することによる市民サービスの低下」を懸念する人は17%(前回調査:22%)、「市民活動の停滞」を懸念する人は7%(前回調査:12%)、「転出者の増加や転入者の減少」を懸念する人は6%(前回調査:7%)となっている。



問9 あなたは、公共施設マネジメントの取組に市民からの反対があった場合に、市はどのような行動をすべきと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。(回答数:645)



【その他の主なもの】

- ・ 取組の内容によっても対応が変わってくると思うので、一概にこれとは言えないですが、市民へのメリットが大きいのであれば、一部の反対があっても致し方ないのかと思います。
- ・ 何でも行政頼りはおかしい。
- ・ 代替案を示し、不便になるだけではないことを説明すべきである。
- ・ 事前に取組についての市民からの意見を聴くべきで、行政の思惑だけで先行すべきでない。
- ・ 他市での成功例及び問題点を複数、出来るだけ詳しく市報・折込み・Youtube等で報せる。

公共施設の取組に反対があった場合、「将来世代のために反対があっても取組を進めるべきである」と回答とする人が前回調査時と同様の39%で最も多く、次いで、「理解が得られるまで、丁寧に説明を行うべきである」と回答する人が34%(前回調査:37%)となっている。

なお、「取組を進めない方が良い」と回答する人は、前回調査時と同様の3%となっている。

問10 尼崎市の公共施設マネジメントについて、ご意見やご要望がありますか。

※主なものを掲載しています。

No.	ご意見・ご要望
1	余裕のない予算で数多く進めるのではなく少数でもより良い施設にするべき。
2	市の財政を考慮して施設の効率化に取り組むべきと思います。
3	支所が無くなり新しくできた施設で何ができて何ができなくなったかの宣伝が不十分。いまだによくわからない。
4	現在のやり方は市民サービスの低下になっている。
5	少子化対策に子育て世帯への優遇施設をもっと増やし、未来投資する。
6	今後市内の人口の減少傾向は目にみえているので必要最低限にすべきです。
7	20代から40代までの現役世代を多く転入させられる公共施設マネジメントに重点を置き、市税の増加を考えて行動すべき。少子高齢化に伴い、高齢者へのフォローやサービスばかりでは新しい世代は住み着かない。一時的にでも多少の不便を高齢者世代にも負担してもらい、抜本的なマネジメント改革をすべきだと思う。
8	老朽化してもメンテで機能維持し、移転しないようにする。
9	費用が足りないから施設を減らすではなく、将来のビジョンを持って、方向性を定めて欲しい。
10	平日・日中は仕事をしているので、公共施設は全く使用できません。ですが、税金はきちんと払っています。なので、赤字は税金で対応する、というのは反対です。使用している人がそれに応じた費用を負担すべきです。また、無駄な費用・経費がかかっていないかも第三者がチェックすべきだと思います。
11	古い建物が多いため、昔から住んで行くのに慣れてる老人しか行かないような公共施設が多い。見た目が綺麗であったり、働く人の給料をあげて若者を増やさなければ廃れていく一方だと思う。
12	よくわからないですが、色々参加してみたい思いもあるので、情報をもっと出してほしい。
13	尼崎市の一部の地域に偏るのではなく、幅広くマネジメントしてほしい。
14	ファミリーで利用できるキャンプ場などの新施設を作って欲しい。
15	老朽化している施設を新しい土地として家や公園、自然として快適な街にする。
16	市民がどこまでマネジメントについて関心があるのか、知るべきだと思います。
17	施設の集中は効率化を図るが、公共施設不在の地域を作ることになるので、そのバランスを考えて行う必要がある。
18	超寿命化は結局建物の耐久性を持たせるだけであり、維持コストは結局のところ老朽化により新築よりもかかるものとする。ならば、統合による新築で機能も集約し、ランニングコストも抑えて、尼崎市の魅力をアピールした方が市内居住者増加にもつながるのではないかと。公共施設がボロボロだとイメージが悪すぎます。それだけで=治安が悪いと認知されても不思議ではない。
19	生涯学習プラザの建て替えて、新しい複合型施設を大いに推進して欲しい。公共施設が老朽化したら統合して施設を作ればよい。
20	どの世代や利用者にスポットを当てていくか。外に出てまで利用したいと思う、利用しやすいところだと魅力的。(例)座る場所がたくさんある、広場がある、ゆったりできるスペースがある、子ども連れ(ベビーカー)でも行きやすいなど。

21	市民活動の拠点は必須であり、昨今のコミュニティの停滞などの一因は活動場所の少ないことである。公共施設が廃止され、住宅などが建設されているのを見るたびに、行政のまちづくり構想があるのかなど疑問に思う。市民ファーストの行政なら、計画前に市民の意見を聴くべきと思う。
22	昔に比べ人口も減るなか綺麗な町になり喜んでいきます。いろいろな施設が新しくなるなか、市役所の老朽化がすごく残念です。一時不便になりますが、部署を散在させて現在の建物の建て替えを望みます。

以上